

報道された広大

八月

#戦後50年のドイツからへ上へ「ヒロシマ通り」
—水島朝穂広島大学総合科学部助教(中国、8・15)

#国体少年ラグビー第二会場を変更へ—広島大運動場内グラウンドに不満の声(中国、8・17)

#広島県の芦田川で洪水時のアシの流量影響調査—建設省と福岡捷二・広島大教授(河川工学)が共同で実施(読売、8・20)

#広島大ついで元気で—26日第3回「千田祭」(読売、8・20)

#震災直前にラドン濃度上昇—民間研究機関が広島大学・岐阜大学研究者と共同研究(日経産業、8・21)

#森滝さん(広島大学名誉教授)の追悼集発行(朝日、8・21)

#広島大文学部公開講座の主題は地域 来月7日から10回開催(中国、8・22)

#広島、長崎大学の合唱団「平和への祈り」歌声で(毎日、8・25)

#きょう広大で「千田祭」留学生らと討論会開催(毎日、8・26)

#市民祭・デザイン会議に3万人 広島大東千田キャンパス(中国、8・27)

#森滝さんたたえ石碑—島根県赤来町(中国、8・27)

#広大など中国大会へ吹奏楽コンクール(朝日、8・28)

#響け 市民と学生200人の大合唱 広島大統合移転記念11月公演へ練習始まる(中国、8・29)

#広島大医学部50年史発行(読売、8・29)

#広大に「いじめ教育センター」 県教委と連携、教師に助言—文部省方針(読売、8・29)

#米GLOBE(環境調査)計画に世界の子供たち連携—文部省が広大付福山など全国21中学をモデル校に指定(中国、8・30)

#フランスの核実験に反対—広島で被爆2世、

広島大生協労組員らハリスト(読売、9・1)

#遠隔地医療に画像伝送システム導入 J A 広島厚生連吉田総合病院、広大医学部と提携(日経、9・2)

#「東広島市の歴史と文化」 広大文学部・東広島市教委7日から公開講座(毎日、9・3)

#中国論壇—紙屋町横断歩道の廃止 石丸紀興広島大工学部助教(中国、9・4)

#11月に生涯学習フェスタ—広島大など五カ所を会場に—博物館や環境教育フェアなどを開催(中国、9・5)

#国立大と短大の入学定員2年連続減/広島大では臨時定員枠50人削減(読売、9・6)

#県のマルチメディア事業化研究会会長に茂里一祐 広島大学工学部長(日経、9・7)

#広大生がハリスト 総合科学部前(読売、9・7)

#響け「ヒロシマの五線譜」原田宏司広島大教育学部教授(中国、9・7)

#11月1日、広島大移転記念でシミュット元西独首相が講演(日経、9・8)

#日本の古代製鉄いつ始まった? 広島大学文学部の川越哲志教授が論争(朝日、9・8)

#でるた—研究者の競争—杉中秀壽広島大歯学部部長(中国、9・8)

#平和運動に取り組んだ広島大総合科学部の小林教授が退官(中国、9・9)

#漢方医・古益東洞の碑、広大医学部に移転(中国、9・9)

#中国論壇—フランスの核実験強行—中達啓示 広島大平和科学センター兼任研究員(中国、9・11)

#「こちら社会部」—広島大の学生が見た盧溝橋の「罪」(読売、9・12)

#C型肝炎 母子感染わずか二・三%—広島大医学部の吉沢浩司教授らが調査(読売、9・12)

#ロボットめぐり講演会—広島大地域共同研究センターが開催(中国、9・13)

#3連覇目指す広大監督沖原謙さん 広島大強化の秘けつは「サッカーをしたい」雰囲気(毎日、9・13)

#フランスコ破裂、大学院生けが 広島工学部で実験中(中国、9・14、朝日、9・15)

#広大本部跡地利用 都市公園を先行整備、9年秋に緑化フェア(中国、9・15)

#終末医療に精神科医の参加必要—山脇成人・広島大医学部教授らが共同調査(読売、9・16)

#広島大原研が交流協定、共同研究進める—ミンスク 遺伝疾患研・カザフ放射線医学研(中国、9・16)

#広場—広大の跡地を青芝駐車場に(中国、9・18)

#広大本部跡建物年明けから3年かけ解体 被爆の理学部1号館除く(中国、9・19)

#跡地に新校舎年内着工—広大法・経各第二部、平和科学研も残留(中国、9・21)

#広大地利利用計画、学生グループ4商店街代表招き討論会 市の案へ反対確認(中国、9・23)

#東広島ケープルメディア、来春放送開始へ、施設設置許可受ける(日経、9・23)

#着衣で泳ぐ 広大附福山中・高公開授業で指導(中国、9・24)

#広大生30人が交通安全学ぶ(中国、9・26)

#広島大など公開講座(読売、9・26)

#広大11月から記念事業 統合移転完了で 元西独首相も講演(読売、9・27)

#広島大 佐竹製作所会長らに名誉博士を授与(日経、朝日、9・27)

#広島大 11月に移転記念イベント 地域との連携より一層に(毎日、9・28)

#環境データ世界で活用 米国の「GLOBE」計画参加、モデル校に広大福山中(朝日、9・28)

#生活と法 受講生募る、広島大と東広島市教委(読売、9・28)

#国税庁機関、地方へ分散 東広島・西条に醸造研究所(朝日、読売、9・28)

#広島大学で空気調和衛生工学会(日経、9・29)

#広島大地域共同研究センター、テクノプラザに分室(日経、9・30)

#ラットで効果 味噌汁飲んで胃がん抑制—広島大(産経、9・30)

編集後記

◆ 本学が移転するという話を聞いたのが、私の学生の頃。それから長かった。今やっと、ほんとうにやっとなら移転が完了したという思いが、私にもある。

二十数年前、四十歳前の若さで本学に赴任してこられた先生がいる。当初移転のことを考えて東広島に居を構え、なかなか移転が実現しないために、結局広島に居を移された。東広島のカンパスには一年間通われたが、今は名誉教授だ。

この先生ばかりではない。とくに移転の先鋒となった学部の中には、他学部の移転を待ちきれずに退官の日を迎えられた方が多かったはずだ。むしろ、同じことが卒業生についても言える。

◆ 移転にはさまざまな思いが交錯している。その思いに報いるためにも、これからの本学の責任は重い。学長の言葉にもあるように、フェニックス・フェスタは「出発点」だ。ちょうど学部教育改革のまった中にある本学にとって、フェスタは広島大学の過去と未来とを分ける分水嶺のように思える。

◆ 本学はどのような未来に進めるのか。いや本学がどのような未来の道を切り開いていくのか。これからの正念場だ。

◆ フェスタを祝う意味から、今回はフェスタ一色の「フォーラム」になった。今号を手引にして各種の事業やイベントに参加していただきたい。そのため、今号はページ数を減らし、発行部数を増やした。急ぐ記事以外は、次号に回していただいた。連載中の執筆者諸氏にはお詫びしたい。

やがてわたしたちは二十一世紀を迎える。広島大学と言えば、今でも東千田キャンパスを思い浮かべる人が多いだろう。だが、来世紀、広島大学はこの東広島島の地にしっかりと根付いて、新たな大学像を描いていかなければならない。その姿に思いを馳せながら、では次号までしばしサヨナラ。

(第27期広報委員会委員長 越智 貢)